



## 「安心・にぎわい・未来

みんなで創る みんなにあたたかい みんなのまち蕨」

を目指して

日本一コンパクトな市域の中に、歴史や文化、コミュニティの豊かさと利便性の高さをあわせ持つ蕨市では、その特長を最大の強みとしながら、市民の皆さんとともに、住みやすさ日本一のまちを目指そうと、2014(平成26)年3月に、本市の最上位計画として「『コンパクトシティ蕨』将来ビジョン」を策定し、まちづくりを進めてまいりました。

この間、公共施設やライフラインの耐震化など、防災都市づくりが進み、10年で犯罪発生件数は半減したほか、県南をリードする子育て・教育の充実、超高齢社会に対応した介護・健康づくりなど、各分野でまちづくりが大きく前進してきました。人口減少社会にあっても、蕨市の人口は当初の想定を大きく超える約7万5千人に増加し、市民意識調査では、子育てしやすいまちと思う子育て世帯の割合が85%に上るなど、選ばれるまちとして発展を続けています。

こうしたなか、昨年10月に市役所新庁舎が開庁、12月に蕨駅西口再開発の起工式を迎え、更に市立病院の建替えに向けた取組がスタートするなど、厳しいコロナ禍も乗り越え、蕨は未来への飛躍に向け、大きな一歩を踏み出しています。

蕨市を取り巻く環境は、全国的な人口減少・少子高齢社会の本格化、気候変動や災害の頻発化、脱炭素社会やDXの進展など、更に大きく変化しています。このような大きな節目にあって、これまでの成果の上に、時代の変化や市民の皆さんのニーズに応え、これから10年の蕨市のまちづくりの指針となる新たな計画として、この度、「『コンパクトシティ蕨』将来ビジョンⅡ」を策定しました。

この計画では、「安心・にぎわい・未来 みんなで創る みんなにあたたかい みんなのまち蕨」を目指すまちのビジョンとして掲げていますが、市民の皆さんと力を合わせて、誰もが安心して住み続けられるとともに、まちの活力にあふれ、未来を担う子どもたちが輝く、そんな住みよいまちづくりを加速化し、蕨の更なる飛躍に向けて全力をあげていく決意です。

本計画の策定に当たりましては審議会をはじめ、ワークショップや市民意識調査、パブリック・コメントなど、市民の皆さんからご意見をいただく場を多く設けてまいりましたが、いずれの場におきましても貴重なご意見等をいただきました市民の皆さんには、改めて心から感謝申し上げますとともに、今後の蕨の飛躍に向け、本計画の推進に向け引き続きのご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2024(令和6)年3月 蕨市長 頼高 英雄